



いつも「なちゅら」を応援してくださり
ありがとうございます

2017年8月号 掲載
【家族・地域・仕事をしなやかに結ぶ場所 Trist流山】
尾崎 えり子 様
創刊3周年おめでとうございます！表紙を飾れたことは私たちの誇りです！おかげで、様々な場所での認知が広がりました。10年後もこうやってメッセージをお送りできるよう、私たちも応援しています！

2018年7月号 掲載
【子育てをみんなで楽しむ Nakocco】
田中 由実 様
創刊3周年おめでとうございます！
「なちゅら」さんが創刊された時は、やっと流山の生活情報誌ができた喜んでおりました。
私たちは、2018年7月に巻頭取材を受けましたが、とても丁寧に取材していただきありがたかったです。写真が掲載されたママたちも嬉しそうでした。これからも地元の記事をよろしく願います。

2018年10月号 掲載
【幼なじみふたりの町おこし 切り絵行灯】
飯田 信義 様
隣家の長谷部年春さんと一緒に流山本町活性化の一助にとの思いで、切り絵行灯を制作しているさなか、2018年10月号に記事として取り上げていただきました。
おかげさまで流山本町をより多くの方々に知ってもらってうれしく思っています。私も切り絵行灯を始め、切り絵を通して流山の歴史文化等を表現できるよう努力していきます。

2019年9月号 掲載
【子どもの笑顔のみまもり続ける ちびっこクラブ】
西原 信幸 様
日頃、学童での子ども達の様子をなかなかお伝え出来る機会が無かったわけですが、昨年「なちゅら」さんから掲載のお話があり、良いチャンスと思いお引き受けしました。さすがプロのカメラマンだとおならされるほど、子ども達の素敵な表情をとらえた写真をたくさんお送りいただき本当にありがとうございました。おかげで、保護者の方だけでなく、地域の方からもたくさんお声をかけていただき、あらためて「なちゅら」誌掲載の反響の大きさに驚かされたものです。



これまで、これからも
流山の皆さんと共に創る「なちゅら」

「地元の方々にもっと地元のことを知ってもらいたい」をコンセプトに2017年にスタートした「なちゅら」は、独自の取材や企画を通じ、様々な角度から流山の魅力を発見、その広報に取り組んできました。誌面作りを支え、日々応援してくださっている地元・流山のたくさんの方々への感謝の思いを込め、表紙や誌面にはお写真を多数掲載しています。その多彩な表情こそが、私たちが伝えたい「流山らしい魅力」です。

3周年を迎えるにあたって〜編集室からのメッセージ〜

2017年6月20日、流山の地域みっちゃん誌として誕生した「なちゅら」は、この度創刊3周年を迎えました。いつも応援いただき誠にありがとうございます。3年前印刷会社としてどのような地域貢献ができたかを考え思い至ったのが、流山の様々な魅力や旬の情報を丁寧に伝え、地域の活性につながる誌面を作ること。流山市にはこれまでお住まいだった方も、新しく転入して来た方もいらっしゃいます。地域の魅力を独自目線で一から取材し伝えることで流山に一層愛着を持っていただく、さらに流山が新しい地元となる方々には純粋に地域のことを知っていただきたいと考えました。
流山の歴史・文化・地域活動などを巻頭特集で取材させていただきました。また企画などで、地元の店舗を紹介する活動をしてきました。地元に住む方が地元の魅力や愛着を感じ、さらに地元のお店でお買い物をするなどで内需を増やし、暮らしや地域経済に彩りが増す。これが「なちゅら」のできる地域貢献の形だと考えています。読者の皆さんには、ぜひ地元・流山の店舗を応援していただきたいと思っています。
なちゅらは創刊3年で、たくさんの方々に認知していただける媒体になりました。



▲なちゅら編集長 原田 聡

流山商工会議所
会頭 田口 佳子 様
地域みっちゃん生活情報誌「なちゅら」の創刊3周年を記念し、心よりお祝い申し上げます。流山市の生活情報を、真摯に、的確に市民の方々に伝達し、経済発展にご尽力をいただいております。コロナウイルスでは、対策の提案、6、7月号でのテイクアウトマップの掲載と、素早い対応に感謝申し上げます。今後の益々のご発展を祈念申し上げます。

流山市長
井崎 義治 様
創刊から3周年を迎え、「なちゅら」は市民の皆様の暮らしを豊かにする生活情報誌として、私も愛読しています。地域に密着した情報や流山市の魅力を存分に引き出す「なちゅら」で、より楽しく豊かな流山ライフをお送りください!!

した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で状況は厳しくなっていますが、読者の皆さんに、地元の情報を出来るだけ伝える活動をしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いたします。